

蘇南高

サッカー部“復活”

かつて全国にも出場 部員の士気高く



「いずれはサッカーで復活を」と意気を上げる部員

体育館の一角にあるトレーニングマシンで部員たちは体幹を鍛える。「基礎を集中的にやってきたことが結果につながった」と末松遼太郎長(2年)。

サッカー部は1973、74年度に県大会を制して全国高校選手権に出場した古豪だが、近年は部員が減り、2009年度に同好会に降格。その後数年間は活動がなく、15年度に末松部長ら3人で再開。校庭の草取りやボールの購入から始めた。

本年度から部活動に

かつて全国大会にも出場した蘇南高校(南木曾町)のサッカー部が復活した。部員5人の今季はフットサルの大会に出場し、18歳以下の県リーグ(昨年10、11月)で2位に。全員が北信越大会(2月・富山県)に出場する県選抜チームのメンバーに選ばれた。同好会から部に復帰して間もない好成績に、部員の士気は上がっている。

(井出順子)

昇格し、南木曾中学期や体力など、自分たちの実力が客観視でき合を重ねて「堅守速攻」のスタイルを磨いた。松部長)という。

中田柊斗副部長(2年)は「部員を増やし、サッカークの公式戦に出るのが目標」。監督の須崎悠貴教諭(25)は「新たな蘇南の歴史をつくるよつ、できる限りの努力を続けたい」と話す。